

大分県の農林水産業の概要

特徴・取組

大分県は、九州の北東部に位置し、東西128km、南北116km、標高0mの豊後高田市の干拓地から標高1,000m近くの飯田（はんた）高原まで耕地が分布し、耕地面積の約70%が中山間地域に位置する起伏の多い地勢となっている。このような地域条件を活かして、米を中心に、園芸や畜産などの多様な農業が営まれている。

産業構造は、県内総生産（平成30年度：4兆6,143億円）を産業別にみると、第1次産業が973億円（構成比2.1%）、第2次産業が1兆4,645億円（構成比31.7%）、第3次産業が3兆0,250億円（構成比65.6%）となっている。

農業では、米から高収益な園芸品目等への転換、おおいた和牛の生産・流通体制の強化に取り組み、マーケットインの商品（もの）づくりを加速するとともに、産地を牽引する担い手の確保・育成に力を入れている。林業では、中核林業経営体の育成、主伐生産性の向上と造林・育林のコスト低減に取り組んでいる。また、木材加工体制の強化や木材流通の合理化を進めている。

水産業では、広域回遊資源の回復、良質な種苗の安定供給と海域生産力の向上を図るとともに、海面養殖業における効率的・安定的な生産体制整備を進め、県産魚の販売力を強化している。

大分県では、将来にわたって農林水産業を牽引する戦略品目（※）を設定し、生産力強化や販路開拓、輸出拡大の取組を推進している。また、県オリジナルいちご「ベリーツ」や「おおいた和牛」、日本一の乾しいたけ「うまみだけ」、「かぼすブリ」といった機能性やストーリー性を備えた特徴ある商品づくりに積極的に取り組んでいる。※白ねぎ、こねぎ、トマト、いちご、ピーマン、かぼす、なし、ぶどう、キウ、茶、肉用牛（繁殖・肥育）、乳用牛、木材、乾しいたけ、生しいたけ、養殖ブリ類（カンパチ、ヒラマサを含む）、養殖ヒラメ、関あじ、関さば、等 27品目

世界農業遺産（平成25年認定）の国東（くにさき）半島宇佐地域は、降水量が少なく、河川からの水利が困難な場所に1,200以上のため池を造って用水供給システムを構築している。稲作のほか、豊富にあるクヌギを使った原木しいたけ栽培やシチトウイ（※）栽培など多様な農林水産業を展開している。※大分県の国東半島だけで栽培されているカヤツリグサ科という植物で、い草に比べて強健で耐久性に優れ、畳表の材料となっている。

主な農林水産物

ねぎ

干拓地から高原地域まで、標高差を活かした周年栽培が広く行われている。（収穫量全国6位）



夏秋ピーマン

雨除け栽培により作柄の安定が図られ、減農薬栽培への取り組みなど品質の向上に努めている。（収穫量全国3位）



カボス

全国の収穫量の99%を占める県を代表する品目で、果汁飲料がヒットするなど加工需要も高まっている。「大分かぼす」は平成29年5月にGI登録。



きく

海岸地域から準高冷地までリレー出荷体系が確立している。リース施設を活用した新規就農者の確保や規模拡大に取り組んでいる。（出荷量全国8位）



乾しいたけ

豊富なクヌギ資源を活用した原木栽培が盛ん。生産量は全国の40%を占める。（生産量全国1位）



肉用牛

第11回全国和牛能力共進会（平成29年）の種牛の部で日本一を獲得。30年におおいた豊後牛の新ブランド「おおいた和牛」を立ち上げ。



木材（すぎ）

日田市や佐伯市を中心に、高品質な乾燥材を県外に出荷している。（素材生産量全国3位）



あじ・さば

一本釣りによって大分市佐賀間に水揚げされる県を代表するブランド魚「関あじ」「関さば」。平成18年10月に地域団体商標に登録。



ぶり（養殖）

豊後水道域で養殖され、収穫量は全国の16%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすブリ」。（収穫量全国2位）



ひらめ（養殖）

陸上施設で養殖され、収穫量は全国の30%を占める。写真は餌にカボスを添加して生産した「かぼすヒラメ」。（収穫量全国1位）



大分県内の各地域における農林水産物

北部地域

【農畜産物】水稲（つや姫、にこまる）、豆腐用大豆、焼酎用大麦、白ねぎ、こねぎ、いちご、日本なし、ぶどう、かぼす、ユズ、ギンナン、スイートピー、茶、肉用牛、豚、ブロイラー
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】クルマエビ、ガザミ（岬がざみ）、ノリ、ドジョウ、スッポン、ウナギ

東部地域

【農畜産物】水稲（早期米、ヒノヒカリ）、醤油用小麦、味噌用はだか麦、いちご、こねぎ、ハウスみかん、かぼす、キウイフルーツ、ユズ、ギンナン、きく、トルコギキョウ、ホオズキ、茶、肉用牛、乳用牛、ブロイラー
 【林産物】乾しいたけ
 【水産物】タチウオ、クルマエビ、シラス（豊後別府湾ちりめん）、マコガレイ（城下かれい）

西部地域

【農畜産物】水稲（ひとめぼれ、つや姫）、トマト、白ねぎ、すいか、はくさい、クレソン、日本なし、ぶどう、ユズ、ギンナン、ばら、肉用牛、乳用牛
 【林産物】木材（すぎ）、乾しいたけ、生しいたけ、わさび（根茎、葉柄）
 【水産物】アユ、ウナギ

中部地域

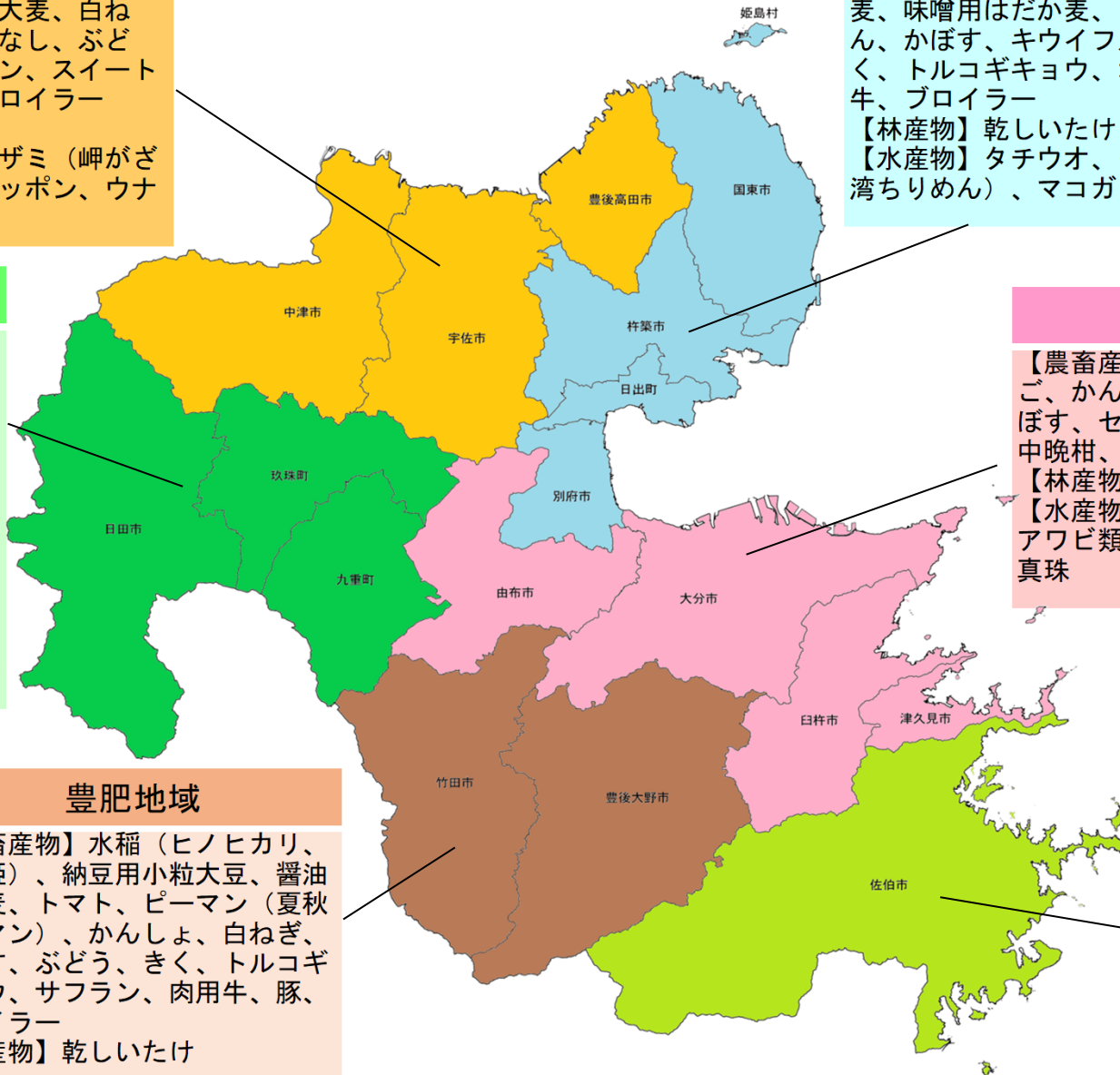
【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ）、いちご、かんしょ、しそ、みつば、にら、かぼす、セミノール（かんきつ類）、茶、中晩柑、肉用牛
 【林産物】生しいたけ
 【水産物】関あじ、関さば、タチウオ、アワビ類、養殖ブリ、養殖クロマグロ、真珠

豊肥地域

【農畜産物】水稲（ヒノヒカリ、つや姫）、納豆用小粒大豆、醤油用小麦、トマト、ピーマン（夏秋ピーマン）、かんしょ、白ねぎ、かぼす、ぶどう、きく、トルコギキョウ、サフラン、肉用牛、豚、ブロイラー
 【林産物】乾しいたけ

南部地域

【農産物】水稲（早期米、ヒノヒカリ）、いちご、にら、中晩柑、セミノール（かんきつ類）、きく、スイートピー、ホオズキ
 【林産物】木材（すぎ）
 【水産物】イワシ類、サバ類、アジ類、アワビ類、養殖ブリ、養殖クロマグロ、養殖ヒラメ、養殖シマアジ



大分県の農業（1）

- ・耕地面積は、5万4,500haで全国第26位。うち田が3万8,800ha。
- ・農業経営体数は、1万9,133経営体で全国第26位。うち法人経営体数は、718経営体で14位。
- ・認定農業者数は、4,092経営体で全国第23位。うち法人は、686法人で14位。

耕地面積

区分	大分県	全国	全国順位
耕地面積	54,500 ha	4,349,000 ha	26
田	38,800 ha	2,366,000 ha	25
畑	15,700 ha	1,983,000 ha	24
普通畑	8,590 ha	1,126,000 ha	26
樹園地	4,370 ha	263,200 ha	18
牧草地	2,710 ha	593,400 ha	11
参考) 総土地面積	634,070 ha	37,797,463 ha	22

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	大分県	全国	全国順位
荒廃農地面積	12,135 ha	281,831 ha	7

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	大分県	全国	全国順位
担い手への集積面積	23,734 ha	2,535,115 ha	27
集積率	43.4 %	58.0 %	19

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	大分県	全国	全国順位
農業経営体数	19,133 経営体	1,075,705 経営体	26
法人経営体	718 経営体	30,707 経営体	14
総農家数	31,954 戸	1,747,079 戸	26
販売農家	18,099 戸	1,027,892 戸	26
参考) 世帯総数	489,249 世帯	55,830,154 世帯	33
集落営農数	464 集落営農	14,490 集落営農	14

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	大分県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	21,496 人	1,363,038 人	27
男	13,389 人	822,144 人	27
女	8,107 人	540,894 人	30
65歳以上	16,626 人	948,621 人	27
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	77.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	4,092 経営体	233,806 経営体	23
法人数	686 法人	26,080 法人	14
参考) 総人口数	1,123,852 人	126,146,099 人	34

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

大分県の農業（2）

- ・農業産出額は、1,208億円 で全国第26位。うち、米が187億円（15%）、肉用牛が117億円（10%）、豚が105億円（9%）。
- ・農畜産物の生産状況は、カボス及びギンナンが全国第1位、夏秋ピーマンが3位、しそが4位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農家民宿の年間販売金額が1億2,100万円 で全国第13位。

農業産出額

区分	大分県	全国	全国順位
農業産出額	1,208 億円	89,557 億円	26
米	187 億円	16,551 億円	29
麦類	4 億円	521 億円	14 *
雑穀	0 億円	77 億円	33
豆類	3 億円	712 億円	27
いも類	23 億円	2,391 億円	14
野菜	351 億円	22,520 億円	20
果実	131 億円	8,741 億円	17
花き	44 億円	3,080 億円	22
工芸農作物	19 億円	1,553 億円	14
その他作物	9 億円	697 億円	21 *
畜産	430 億円	32,279 億円	20
肉用牛	117 億円	6,863 億円	16
乳用牛	89 億円	9,310 億円	19
生乳	79 億円	7,798 億円	18
豚	105 億円	6,596 億円	19
鶏	117 億円	8,724 億円	23
鶏卵	38 億円	4,577 億円	30
ブロイラー	62 億円	3,621 億円	13 *
その他畜産物	2 億円	787 億円	30
加工農産物	8 億円	436 億円	10

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	大分県	全国	全国順位
カボス	収穫量	元 5,800 t	5,859 t	1
ギンナン	収穫量	元 474 t	1,102 t	1
夏秋ピーマン	収穫量	R2 6,870 t	69,200 t	3
しそ	収穫量	H30 589 t	8,115 t	4 *
はくさい	収穫量	R2 24,400 t	892,300 t	6
ねぎ	収穫量	R2 17,400 t	441,100 t	6
みつば	収穫量	R2 926 t	13,400 t	6
にら	収穫量	R2 2,960 t	57,000 t	7
きく（切り花類）	出荷量	R2 29,500 千本	1,300,000 千本	8
日本なし	収穫量	R2 6,830 t	170,500 t	9
肉用牛	飼養頭数	R3 51,100 頭	2,605,000 頭	14
水稻	収穫量	R3 95,500 t	7,563,000 t	27

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「特定果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況調査」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	大分県	全国	全国順位
農産加工	総額	9,547 百万円	946,841 百万円 30
	事業体数	480 事業体	32,400 事業体 32
農産物直売所	総額	18,469 百万円	1,053,366 百万円 26
	事業体数	350 事業体	23,650 事業体 28
農家民宿	総額	121 百万円	5,409 百万円 13 *
	農業経営体数	60 経営体	1,360 経営体 5 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

大 分 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は、160.4億円で全国第6位。うち、木材生産が103.8億円で5位、栽培きのご類生産が54.9億円で7位。
- ・ 林産物の生産状況は、乾しいたけが全国第1位、すぎ（針葉樹）が3位、わさび（根茎）が5位。
- ・ 製材工場数は、115工場で全国第11位。

林野面積

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林野面積	454,565 ha	24,770,201 ha	19
国有林	50,466 ha	7,153,338 ha	19
民有林	404,099 ha	17,616,863 ha	17
人工林面積	233,485 ha	10,203,842 ha	15

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林産物の生産状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
素材生産量	1,014 千m ³	19,882 千m ³	5
針葉樹	1,004 千m ³	18,037 千m ³	5
すぎ	824 千m ³	11,663 千m ³	3
広葉樹	10 千m ³	1,845 千m ³	28
乾しいたけ	生産量 916 t	2,302 t	1
わさび（根茎）	生産量 6 t	450 t	5

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

林業経営体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,329 経営体	34,001 経営体	6
法人経営体	93 経営体	4,093 経営体	16

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
工場数	115 工場	4,115 工場	11
製材用素材の入荷があった工場数	115 工場	4,067 工場	11
国産材のみ	100 工場	3,237 工場	11
国産材と輸入材	15 工場	653 工場	20

出典：「令和2年木材需給報告書」

林業産出額

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
林業産出額	160.4 億円	4,286.4 億円	6
木材生産	103.8 億円	1,943.7 億円	5
栽培きのご類生産	54.9 億円	2,259.6 億円	7

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

大 分 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は、406億円で全国第11位。
- ・水産物の生産状況は、海面養殖業のひらめが全国第1位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が59億1,500万円で全国第8位。水産物直売所の年間販売金額は、6億7,500万円で18位。

漁船隻数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
漁船隻数	3,127 隻	132,201 隻	16
動力漁船	2,088 隻	69,920 隻	12

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,914 経営体	79,067 経営体	17
内水面漁業経営体数	42 経営体	4,772 経営体	29

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	3,455 人	151,701 人	17
男	2,917 人	134,186 人	19
女	538 人	17,515 人	13

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	406 億円	13,484 億円	11

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	59,068 t	4,182,983 t	22 *
海面漁業漁獲量	35,518 t	3,213,334 t	21
たちうお	225 t	6,395 t	10
くるまえば	22 t	245 t	4
海面養殖業収穫量	23,550 t	969,649 t	13 *
ひらめ	536 t	1,790 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	256 t	50,832 t	28 *
内水面漁業漁獲量	93 t	21,745 t	19 *
うなぎ	4 t	66 t	6 *
内水面養殖業収穫量	163 t	29,087 t	22 *
あゆ	85 t	4,044 t	10 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	大 分 県	全 国	全国順位
水産加工	総額	5,915 百万円	175,132 百万円 8
	事業体数	30 事業体	1,500 事業体 16
水産物直売所	総額	675 百万円	36,489 百万円 18 *
	事業体数	10 事業体	800 事業体 18 *
漁家レストラン	総額	102 百万円	11,822 百万円 22 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体 11 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

大分県の農林水産業の話題等

県域での産地拡大と集出荷体制の整備を目指して

大分県の顔となる園芸品目を育成し、生産拡大を図るため、県域での加速度的な産地拡大が見込める4品目を選定し、農地確保から出荷販売までパッケージで重点支援していく。

【ねぎ（白ねぎ・こねぎ）】

①広域育苗施設整備、②常用機械整備、③調製作業の外部化支援、④出荷調製施設整備、⑤販路開拓アドバイザー配置 等

【ピーマン】

①難防除病害対策（共同育苗施設整備、媒介害虫拡散防止対策等）、②水田排水性向上支援、③共同選果場の能力向上 等

【高糖度かんしょ】

①難防除病害対策（優良親株増殖施設拡充、土壌消毒機導入等）、②共同貯蔵施設整備、③輸出拡大向けキュアリング施設整備 等

【県オリジナルいちご「ベリーツ」】

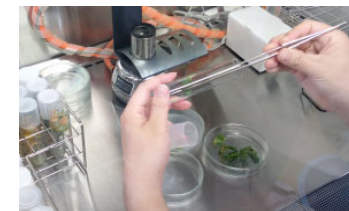
①早期単収向上支援（モデル実証圃設置、環境制御技術研修等）、②パッケージセンター整備、③高級量販店と連携したキャンペーン 等



優良農地確保による白ねぎ産地拡大



ピーマン選果場の拡充



かんしょのウイルスフリー苗の安定確保



早期単収向上に向けた栽培技術の定着

畜産振興について

【課題】経営体支援の充実により、規模拡大は進んだものの、人手不足、環境対策等の構造的課題により、さらなる規模拡大に繋がっていない。更なる拡大には、経営体共通の課題対応が必要で、飼養管理の一部外部化による効率化や経営の着実な継承、耕畜連携による排せつ物処理の円滑化を図ることとし、以下の取組を進める。

【具体的な取組】

- キャトルステーション等の共同利用施設による作業外部化
- 共同利用施設、ヘルパー組織を活用した実践的な人材育成
- 県域での耕畜連携システムの確立及び自給飼料生産（飼料用トウモロコシ等）の推進
- 国内向け食肉流通の拡大と輸出強化のための畜産公社の施設・機械の整備



キャトルステーションによる作業外部化



食肉流通と輸出強化のための施設整備